

リノベーションスタディ 滝沢

開催報告【建築住宅課】

平成29年11月7日（火）～8日（水）



リノベーションスタディとは：

行政が所有する遊休公共空間を題材に、民間と行政が共同で、地域の課題を解決するとともにエリアの価値を上げる「ビジネス」を興すこと

今回の「リノベーションスタディ」は、**滝沢市所有で現在閉鎖中の公共施設「お山の湯」**を題材に、2日間にわたり開催しました。

岡崎正信氏（一般社団法人公民連携事業機構）を総括責任者とし、岩手県及び秋田県で実際にまちづくりに取り組んでいる、桑原宏治氏（FARM ON THE TABLE）、東海林諭宣氏（株式会社シービジョンズ）、小堀薫子氏（株式会社祥薫 company）の3名の講師が受講者の指導に当たりました。

スタディでは、受講者は民間人と公務員混成による3つのユニットに分けられ、各ユニットが講師と共にエリアを変えるビジネスをとことん考え、事業計画を組み立てるとそれを実現するために必要な法令や手続きについても検討しました。

検討の結果は公開でプレゼンテーションを行い、次のような事業計画が提案されました。

《ユニットA》

建物は厨房のみ使用することで賃借料を抑えつつ、駐車場に配置したテントとプロジェクションマッピングを駆使した演出により、特別な日のための飲食を楽しむ場とする案

《ユニットB》

生ハムを製造・販売し収益を得ながら、自然を生かしたアクティビティの提供、アウトドアショップやカフェの経営を行う案

《ユニットC》

周辺の牧草地を季節の花を楽しむ空間として活用し、宿泊やカブトムシの養殖、木工アート等の自然体験を提供するとともに、将来的な建物の解体費用を積み立てる案

リノベーションスタディは、ただ検討して終わるワークショップではありません。これから事業化を目指して動き出すこととなります。これからの「お山の湯」そして滝沢市の変化をお楽しみに。そして、興味があれば、ぜひこのプロジェクトに参画してください。

